

マンモグラフィと乳房超音波、どちらを受ければいいのか？

検査として優劣があるわけではなく、検出するのを得意とする病状に違いがあります。当院では両方検査することをおすすめしています。

マンモグラフィ	
利点	・石灰化や乳腺の全体像をとらえやすい
	・検診受診の継続によって、乳がん死亡率が低下することが統計学的に証明されている
	・撮影方法が定められており、過去の画像と比較しやすい
欠点	・痛みを伴うことがある
	・年齢・乳腺量の個人差により、詳細な診断ができないことがある
	・妊娠中やその疑いがある時は検査不可能
※X線検査のため多少は放射線被ばくがありますが、乳房の局所的なものです。 また1回に被ばくする放射線量はごく微量であり、全身に影響したり、骨髄抑制や白血病、発がん等の可能性はまずないと考えてください。	
乳房超音波	
利点	・妊娠中でも施行可能
	・乳腺が発達している人や若年者(40歳以下)で、痛みなく検査ができる
	・小さなしこりをみつけやすい
	・しこりの質的診断をしやすい
欠点	・石灰化の評価がしづらい
	・がん以外の良性の所見も見つかりやすく、再検査となる可能性が高くなる
	・施行者の技量に依存する
	・検診での有効性の確認が未だ確立されていない(厚生労働省指定研究が進行中)